1学年 3/12(木) 9:05開会　@本校講堂

	学年		ゼミ名	担当教員	ゼミテーマ	概要
1	1年	9:15~10:50	きらきらゼミ	出野	フラワーサイクル	生花として販売できずに廃棄されてしまう、「フラワーロス問題」を解決したい！という気持ちから始まったこ の活動は現在、それら花たちに付加価値をつけ生まれ変わらせる「アップサイクル」の考えのもと、地域と連 携を取りながら活動をしている。
2	1年		柴山(美)ゼミ	柴山(美)	外国人が情報を受け取りやすい川崎へ	在留外国人が総人口に占める割合が全国平均よりも高い川崎市だが、外国人市民に行政が発信している 情報があまり届いていないという現状にある。この現状を打破するためには、情報発信の方法を工夫する とが重要であると考え、様々な情報発信ツールについて、在留外国人にとって最も効果的な方法を調べる。
3	1年		浦江ゼミ	浦江	日々のお弁当作りの負担が大きいという課題の解決と、川崎の子どもたちに、健康な食生活を送ってもらうこと	弁当作りの負担を減らすために学食を作ろうと活動していたが、予算・衛生面・スペース的な問題で断念。そ こで「食」を軸に健康的な生活を送るためにほかにできることを考えた。 「学食」のテーマと近い「学校でのスープ販売」と川崎市の子供たちが健康的な食生活を送れるように「川崎 市の子ども食堂のお手伝い」の2つにわけ、同時平行で活動した。 スープ販売も子ども食堂も実行方法・予定ともに決定したため、今年中には実行する予定。
4	1年		まつこゼミ	小松	人間☆輸送効率化☆プロジェクト	毎朝通勤通学のためにエスカレーターに乗るための列が形成されていることが目撃される。そこで私たちは エスカレーターの混みを解消し列が起きずスムーズにエスカレーターに乗ることができることを目標に研究を 取り組んだ。
5	1年		立山ゼミ	立山	野良猫になるな、飼い猫になれ。	川崎市には野良猫に関する苦情が約1500件寄せられている現状がある。この野良猫問題に対して、本校 の神無祭で譲渡会を開催することと、ポスターで野良猫に関する啓発活動をすることで、飼い主のいない猫 の数を一匹でも減らすとともに、野良猫に関する問題について多くの人に知ってもらう。
6	1年		荒井ゼミ	荒井	健康都市川崎の実現を目指して ～小中学生の運動習慣向上への活動～	私たちは川崎市の小中学生の体力テストの結果が低いところに着目した。そこから、もし運動習慣を向上さ せることができれば、未来を担う子供たちの健康状態の改善に繋がり、経済活動を支える基盤づくりや病気 の予防、介護状態となる人口の減少による市の財政負担の軽減など、川崎市に大きく貢献できるのではな いかと考えた。そこで私たちは、わくわくプラザにおいて小学生を対象に縄跳びのイベントを実施し、集団競 技と個人競技に分けて開催した。
7	1年	11:00~12:30	酒井ゼミ	酒井	川崎の景観を改善しよう	川崎市の景観に関する取り組みはすでに進んでいることもありますが、まだ影響範囲は限定的で、川崎の 人々全員がその恩恵を受けているとは言えない現状があります。その点について私たちは、良い景観が精 神的にも良い影響をもたらすというエッセンスを加えながらこの問題に取り組んでいき、川崎を誇らしいと思 える街づくりの基盤を育んでいきたいと思います。
8	1年		HAENOシェアゼミ	波江野	遊びたい、がすぐ叶う	私たちが目指すのは誰もが手軽に遊べる公園を実現させて便利な川崎にすること。 富士見公園での遊び道具の貸し出しイベントより、遊び道具ロッカーの需要が高いことが観測された。企業 と提携しロッカー設置に向けて活動している。
9	1年		鉄ゼミ	井澤ゼミ	おんがくのまち・川崎を応援しよう	川崎の音楽活動を応援するため、今年度は路上ライブについて着目した。川崎駅前の路上ライブは騒音被 害にもなっていて、悪いイメージを持つ人も少なくない。良いイメージを広めるため路上ライブの新しいファン の獲得を目指し、また、アーティストがより気持ちよくライブができるよう活動する。
10	1年		おはよしえゼミ	角田(よ)	おっはよーを言える仲へ	放課後に「友達と過ごしたい」や「スポーツをしたり体を動かしたりしたい」と思っているけれど放課後自宅で 一人で過ごしている子どもたちに遊んでもらうために、わくわくプラザと協力してイベントを企画、実行する。 そしてイベントを通して友達を作るなどし、子どもの放課後の居場所を作るために活動する。
11	1年		リケゼミ	リケ	『防災に強いまち川崎へ』プロジェクト	川崎を防災に強いまちにすべく、人々が多くを知らない避難所の実態を学内外で調査し始めた。南部療育 センター、学校長、防災カフェの川崎市町内の方、市役所職員から話を聞いた。そこで見えてきたのは人材 不足。それを解決する方法を模索中。「学校避難所が発災直後から機能するために、学校内の仕組みと学 校外の資源をどう接続すべきか」という仮説をもとに活動中。
12	1年		矢島ゼミ	矢島	ごみからお宝大作戦	川崎市内でも、学校内でもごみの分別問題が起きている。私たちは、より分別しやすくするため、そして分別 したごみを有効活用するため、自分たちに何ができるか考え、制作班と(元)企画班に分かれて探究した。

2学年ゼミテーマ一覧 3/11(水) 9:05開会　@本校講堂

	学年		ゼミ名	担当教員	ゼミテーマ	概要
1	2年	9:15~10:50	まちこゼミ	梁川	かわさき名産品の知名度向上	川崎市に住んでいても、かわさき名産品を知らないという人はかなり多い。そんな名産品たちを広めること で、川崎市の魅力をより多くの人に知ってもらうため、販売会やアンケートの実施など、様々な活動を行っ た。
2	2年		青木道場	青木	川崎市民のスポーツの興味関心を向上させよう	川崎市スポーツ推進計画に基づき、川崎市民のスポーツの興味関心を向上させるという目標を立て活動し てきた。2025年5月頃にスポーツフェスの開催を最終目標に設定し、2026年2月23日に市立5校の高校生と 教員を対象とした「市川スポーツフェス」を開催した。
3	2年		白金ゼミ	東條	川崎市7区の魅力を広めよう！	川崎市の7区には、それぞれに魅力があるのに、人々にあまり知られていない。そこで私たちのゼミは7区 の銘菓を実際に味わい、写真や短い動画で魅力を切り取る体験共有型のアプローチで、地域の良さを広 めようとしている。川崎区は寄せながらの和菓子と港町の景色、幸区は人気スイーツと再開発エリアのにぎわ いなど、区ごとの個性を若い視点でコンパクトに伝えることで地域への関心を高め、市全体の魅力を再発見 するきっかけにつなげたいと考えている。
4	2年		今野ゼミ	今野	路上ライブを用いて川崎市を盛り上げる	川崎市では「音楽のまち・かわさき」をうたっているにもかかわらず、音楽を奨励する活動にジャンルの偏り がある。より若者文化を生かし大衆に音楽の魅力を伝えるため、路上ライブを広め、もっと多くの人に多様な ジャンルの音楽に親しんでもらうことを目標とする。
5	2年		そうまうまうまゼミ	相馬	かわさき餃子みその知名度向上	かわさき餃子味噌を知っている人は校内で約20%。川崎市の名産を有名にすることで川崎をもっと盛り上げ ることを目標に、に主に販売活動を通して広報活動を行った。
6	2年		先駆者パチイケ トップランナー	山口	川崎の魅力を広めないと！！	川崎に訪れる人の大半の目的地は川崎駅及びラゾーナ川崎プラザです。観光として訪れる人は少ないわけ です。そこで私たちパチイケトップランナーは川崎の魅力になりうる部分を皆さんに伝えたいです。という趣 旨で活動を進めようとしていたのですが…
7	2年	11:00~12:30	いとしきゼミ	阿部	タバコから川崎市の4K(健康・環境・景観・共存)を守る	「非喫煙者の健康」と「喫煙の自由」の両立させ、双方が心地よく暮らせる街を実現する為に、路上喫煙と吸 殻のポイ捨ての削減を課題として活動しています。啓発や呼びかけ等の一方通行な取り組みだけでは依然 としてタバコ問題が残ってしまう点を踏まえ、「遊び心」や「参加型」という要素に着目して『投票型喫煙所』な どの喫煙者自身も関われる取り組みを行ってきました。
8	2年		角田ゼミ	角田(ゆ)	川崎の緑化を推進しよう&川崎の海洋プラスチックを削減しよう	緑化班では、緑化を推進するために植物が周りの人間にどのような効果を及ぼすのか実験し、その有用性 について検証した。海洋班では、海洋プラスチックごみの削減を目指し、それらを直接減らす方法と間接的 に減らす方法の二つの方法でアプローチした。
9	2年		真剣ゼミ	安藤	川崎の都市農業の維持	「かわさきそだち」とは川崎市内で生産された農作物の総称である。「かわさきそだち」はほとんど売れ残り がないほど需要があるにも関わらず担い手の高齢化が進み農地は減少し続けている。農地は教育機会の 提供や災害時の避難場所など様々な機能を有している。都市農業の必要性、都市部の農業などのように し て維持していくべきかの二点を神無祭での自作商品の販売や校内での直売会、農家への取材などの活動 を通して考察を行った。
10	2年		なべゼミ	渡邊	名産品と芸術で川崎を盛り上げよう	名産品と芸術というテーマで分かれ、多角的な視点から川崎市の魅力を伝え、あたらしい川崎をゼミ活動を 通して見つけることを目的として様々なイベントの企画・実施を行った。名産品班では、校内から販売活動を 広め、最終的には市外まで活動の幅を広めることができた。芸術班では、活動当初は音楽をテーマとして イ ベントの企画などを行っていたが、芸術という範囲でテーマを再設定することで、より活動の幅を広げること ができた。
11	2年		まんじゅうゼミ2.0	鈴木	デートスポットを通じて川崎の穴場スポットを広めよう	川崎市には魅力的なスポットがたくさんあるが、川崎市民の多くは横浜や東京などでデートをする傾向があ る。そこで我々まんじゅうゼ2.0は、川崎市のスポットの知名度向上のため、SNSやパンフレットでの発信を通 じて川崎を活性化することを目指す。
12	2年		まきまきゼミ	八巻	若年層の献血認知度及び実施者数の増加を促す	神奈川県の献血実施ランキングは47都道府県中45位という現状。なんとか賄えている現状ではあるが、川 崎市に焦点を当ててみると、川崎市は他の都市から4000人分の血液製剤を供給してもらっている。若年層 の献血実施者数が右肩下がりで将来の血液不足が危惧される中、若年層の興味関心を引き出すために高 校生の視点から様々なアプローチをして改善を試みる。